

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成26年2月28日 NO.93

花ちゃん 「きのうのお話では、地面（じめん）の近（ちか）くのほうが、あたたかいということだったわね。」

オー君 「そうだったね。つめたい風もあたらないからだったよな」

花ちゃん 「でも、ほんとうなのかな・・・。」

オー君 「何を言っているんだよ。ほんとうかどうかをするために、実験（じっけん）をするんだろ。」

花ちゃん 「そうね。それでは、どうやればいいんだろう。どんな実験道具（どうぐ）を作ればいいんだろう。」

オー君 「そうだ。二人でいろいろと考えてみよう。」

モンタ博士「そうだよ、花ちゃん・オー君！そこが大切（たいせつ）なところなんだ。いろいろ話しあってごらん。」

ということで、二人で右の写真のようなものを作ったとさ・・・。

花ちゃん 「温度計（おんどけい）その1というのは、地面（じめん）から1m20cmくらいの空中の気温（きおん＝空気の温度）をはかります。」

オー君 「温度計その2というのは、地面から5cmくらいの地表の気温をはかります。」

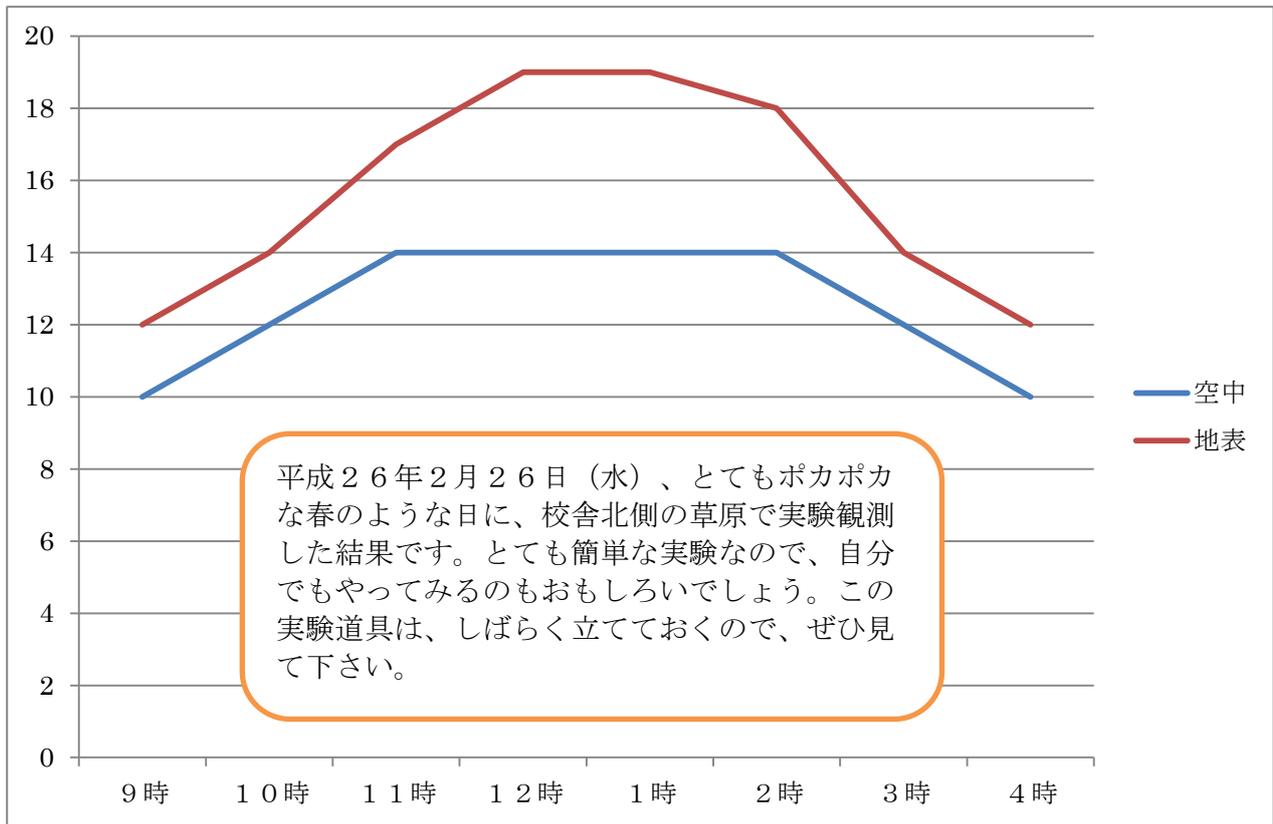
花ちゃん 「そして、1時間ごとに気温をはかりました。」

オー君 「温度計を見る時に、水平（すいへい）に見るようにするんだ。」

花ちゃん 「そうしないと、正確（せいかく）な温度がはかれないからなんです。」

オー君 「そして、グラフにしたのが右です。」





モンタ博士「グラフを見て、どんなことに気がつきましたか。」

花ちゃん「朝と夕方はあまりちがいがいいですね。」

オー君「そうなんだ。でも、午後1時ころは、120cmのところは14度しかなかったのに、地面の近くの5cmのところでは19度もあったんだ。」

花ちゃん「 $19 - 14 = 5$ ですね。つまり、5度も地面の近くのほうが気温が高いということがわかりました。」

オー君「オオイヌノフグリなど、背(せ)の低い花がどうして今たくさんさくのかということがよくわかりました。」

花ちゃん「そうね。偶然(ぐうぜん)に花をさかせているんじゃないのね。みんな、意味があるということがよくわかりました。」

モンタ博士「オオイヌノフグリがかわいい花をさかせている。ああきれいだ、で終わっても、まあいいけどね。なぜそこにオオイヌノフグリが花をさかせているのか。どうしてそこじゃないと生えないのかとか、気温(きおん)との関係(かんけい)、水との関係、空気との関係、土との関係、などなど、いろいろな環境(かんきょう)と合わせて、どうしてかなあと考えることも楽しいことだよ。」